城東区の社会福祉

発行所
社会福祉法人
大阪市城東区社会福祉協議会
発行人
駒井信義
編集人
広田豊
大阪市城東区中央3丁目4番29号
城東区役所内
電話（932）1351
題字は駒井区社協会長

城東区社会福祉協議会創立

25周年記念大会開催

法人設立総会を兼ねて
功労者六十一名を表彰

社会福祉法人城東区社会福祉協議会設立総会並びに二十五周年記念大会が、八月六日城東区民ホールで区内各種福祉団体役員約四百人が参加して盛大に開かれ、社協功労者の表彰、善意銀行への寄付者に対して感謝状の贈呈が行われた。

第一部の式典は吉田副会長の開会のことばに始まり駒井会長のあいさつがあり、倉橋常務理事の経過報告があって次に駒井会長より永年社会福祉に尽力された功労者六十一名の表彰と善意銀行への多額の寄付者十八名に対して感謝状の贈呈が行われた。

来賓として、大阪市長（桜木民生局次長代読）、辻本城東区長、岩田区内選出府市会議員代表よりそれぞれ祝辞があり、中津副会長より力強い大会宣言があって勝田副会長の閉会の言葉で第一部を終了した。

第二部として産経新聞桑田貞夫編集委員の記念講演があり、極めて盛大裡に終了した。

なお当日、永年の念願であった広報紙「城東区の社会福祉」創刊号が配布された。

区社協の表彰者並びに感謝状贈呈者は次のとおりである。（敬称略、順不同）

△**表彰状**

（諏訪校下）
渡辺真一、細川昌子、小森年幸、垂水嘉茂、大下重吉、石田勇

（中浜校下）
吉田定治、高津幾太郎、高橋政人、南浦幹子、監物フミ、砂田フミ

（東中浜校下）
広田豊、堀口恒次、佐賀勝太郎、丹羽東、河野ハワミ

（城東校下）
豊倉一男、西田進、田中文助、伊勢明子、中津澄子、奥田清次

（鴫野校下）
高橋熊太郎、榊原糸美

（聖賢校下）
辻本弥三郎、安垣寮、奥田捨治郎、福井フミエ

（今福校下）
川崎福松、酒井虎治、宮田浅太郎、村上勝海

（放出校下）
田中繁夫、吉井勝三、三好重雄、北田ヨシ、広栄化学工業㈱放出製造所、㈱前川電気鋳鋼所

（鯰江校下）
倉橋明定、辻本栄三郎、永井英男、村上修一郎、遠山音松、大原清平

（関目校下）
美濃部利一郎、岡田義雄、落合政義、絹田繁蔵

（堂校下）
堀田直広、伊藤愛蔵

（梅並校下）
辻本市松、下元武、大西繁次、木村修三、松葉常子

（成育校下）
三ツ橋九一、玉井徳太郎、永田正一

△**感謝状**
花谷為子、笹井泉二郎、広田寅男、木南道孝、野田直行、藤本昭博、広本千代子、渡辺晃一郎、松井市九、集一林正治郎、松井謙松、田中英硝子公害排除対策協議会、大阪城東中小商工業経営協同組合理事長松田徳太郎、前川以知郎、大島進、岡恭子

城東まつり
盛況の素人演芸会

八月二十五日、城東区民ホールで城東まつりの前夜祭として素人演芸大会が行われました。最初出演の申込みが少なかったのが、〆切まじかには、予定時間をオーバーするのではとあやぶまれる程の参加申込みがありました。

大会はドラム合戦のオープニングから、民踊（謡）うた、舞踊、詩吟、奇術、剣舞、バレエと色んな種目に五十四組が、日頃の成果を思う存分披露されました。出演者の中には、経験者も多いようでしたが、初めての方などは、舞台のそで、緊張のおももちで出番を待つ姿もチラホラ。

一方、元宝塚歌劇スターの浦路夏子さんの司会ぶりに黄色い声援が飛んだり、出演者への声援、応援もにぎやかに、七〇〇名収容のホールが、ほぼ満員の状態が最後まで続く盛況であった。

中学生ソフトボール
城東区予選大会開催

去る十月二十三日早朝八時から童中学校運動場において、スポーツ活動を通じて心身の鍛練と道徳心の向上をはかり、地域における青少年の健全な育成ならびに非行防止活動をねらいとして、第五回大阪市中学生ソフトボール大会の城東区予選が、各地区から十チームの参加により、絶好の秋晴れの下で熱戦の火ぶたが切られ白熱したゲームが展開されました。

栄えある優勝を手にした関目校下チームには、今年区社会福祉協議会が作った深紅の大優勝旗が授与され、聖賢校下チームが準優勝となりました。この優勝旗をひっさげて出場、その活躍が期待されています。

来る十一月三日の大阪市の大会には、関目チームが

老人敬愛運動
各地で盛大に

老人敬愛月間の九月には十五日の「敬老の日」を中心に各地で敬老運動が盛大に行われました。

これは、多年にわたり社会に尽くしてこられた老人を敬愛し長寿を祝い、老人の生活を明るく豊かなものにするため、すべての人が老人福祉についての関心と理解を深め、平和な明るい社会をつくり、また、老人自身も時代とともに生きる意欲を盛りあげていただこうとする運動です。

このため、みんなが理解しあい協力しあって老後の福祉を確保し、明るい社会の建設を呼びかけてきたところです。

区社協でも、各校下に助成金の交付、八十歳以上の方全員（約千五百名）に氷砂糖を、満九十歳の方（二十五名）に座ぶとんを、九十一歳以上の方（四十七名）に栄太楼あめを、また、今年から、金婚式を迎えられたご夫婦（二十四組）に金杯をお贈り、ご長寿をお祝いしました。

九月十四日には、区長と区社協会長が、区内で二番目の高齢者曽我トヨさん（昨年は熊野のよさん）と生活保護家庭の最高齢者のご家庭を訪問、祝品をお贈りして、親しくご長寿をお祝いいたしました。

モデル地区社協
活動研修会に参加

地域福祉活動を進めていく上で、ボランティア活動がますます重要になっています。

そこで「社協活動とボランティア」を中心テーマとしての研修であり、十月五日から二十五日まで四回参加者は各区の地区社協指導者等八〇名、城東区からは榎並校下社協より三名、協力者二名がこれに参加いたしております。

〝みんなで盗犯予防を〟

城東区内での最近の犯罪発生状況を検討しましたところ、特に窃盗犯が一六％と増加し、中でも空巣、自転車盗、車上狙等が著しく増加してきています。警察としても、多発地域を重点警戒し、予防検挙につとめておりますが、区内のみなさんの家庭でも、戸締点検や放置自転車等に対する防犯について、特にご注意下さい。

最近の主な犯罪の手口（五二年一月～八月）

地区別 ＼ 罪種手口別	窃盗						窃盗	
	侵入盗				非侵入盗		非侵入盗	
	あきす	事務所荒	忍込み	自転車盗	自動車盗	車上狙い	車上狙い	
並育目（榎並校下）	11	7	0	16	5	5	5	
成関童江（関目校下）	16	6	1	18	6	14	14	
賢福出東野浜浜訪計（東中浜校下）	5	5	11	80	5	7	7	
聖今放城鴫中東諏合（城東校下）	6	1	1	23	5	9	9	
	15	6	0	84	6	19	19	
	2	0	3	39	5	14	14	
	12	1	0	12	2	2	2	
	12	4	1	10	1	2	2	
	9	2	2	17	4	7	5	
	4	1	3	25	5	9	7	
	1	0	1	11	1	7	16	
	8	3	1	29	10	16	16	
	106	37	30	383	57	116	116	

「註」数字は地区別の犯罪件数を示す。

共同募金
―赤い羽根運動―

十月一日から展開されている共同募金は、明るい住みよい町づくりと、不幸な人たちのために役立てることを目的とした国民の助け合い運動です。

昭和二十二年以来、長い間続いてきている運動ですがそれだけにかえって関心が薄れてきているようです。

しかし、幸い当区では、毎年各地区役員の方々を中心にこの運動を推進していただき常に優秀な成績を収めてまいりました。

今年も各地区から暖かいご協力がどんどん寄せられております。ここに深く感謝申しあげる次第です。

十一月八日付で、河島前区社協副会長が、共同募金関係功労者として、厚生大臣表彰を受彰されました。

善意銀行だより

八月五日号でご報告以降の一万円以上の預託者は次の方々です。

後藤勝行様　五〇、〇〇〇円

橋爪保雄様
四五、〇〇〇円
北川富三様

一〇、〇〇〇円

喫茶レイク様　二一、八四〇円

内海　潤様　五〇、〇〇〇円

硬貨募金運動

老人敬愛運動、青少年福祉の一層の充実を願って、今年も八月に実施しました、硬貨募金がみなさまのあたたかい思いやりのおかげで総額二、九八九、四二二円と昨年の実績を大きく上まわりました。皆様の尊い愛の基金を地域の福祉増進に役立たせて頂きます。

校下社協会長会並びに共同募金委員会の合同会議開催

昭和五十二年九月五日、城東区役所第一会議室において、次の議案について、社協会長会並びに共同募金委員会の合同会議を開催して協議した。

1 九月の敬老月間行事について
2 五十二年度共同募金地区目標額について
3 賛助会員募集について
4 老人の実態調査実施について
5 区社協広報紙　城東区の社会福祉第二号発行について

校下社協だより

東中浜

昭和四五年四月発足を見ました青空老人センター憩の家は、その後多数の見学があり、四六年九月東京NHKより取材の全国放送を始め、朝日新聞記者二名、関西テレビ一回、大阪NHK二回、朝日テレビ一回、毎日テレビ一回等の取材放送を受けた。また中国よりの人民代表六名が来訪され激励を受け、各地方よりの視察を受ける事もしばしばあり、遠くは北海道、高知県、近くは市内各所よりの見学が相つぎ多大の嬉びを感じました。

なお朝日新聞厚生文化事業団より多額の特別寄付がありました。

東成区青少年指導員会より畳二十数畳の特別寄付もあり、さらに区内有志の方々よりテレビ備品等の寄付も相つぎ、憩の家として老人各位より多大の感謝を受けております。

保健所からは指導員の訪問があり、保健体操、血圧の測定等健康指導を受けており、和気あいあいのうちに運営されています。

運営費は硬貨募金に各団体の使用料及び区社協よりの援助費等によってまかなっております。

城東

城東校下には、八〇歳以上一六五名、七〇～八〇歳まで五三三名の老人が居住されていて、八〇歳以上の方と金婚夫婦には、市及び区社協よりお祝い品が贈られたが、校下社協では、これとは別に七〇歳以上には紅白の饅頭を贈り長寿をお祝いしました。

敬老の日九月十五日には城東小学校で社協役員、青少年指導員、子供会、婦人部の協力で敬老会が四〇〇名の多数が参加されて盛大に開催されました。

第一部は盛勢のよい若者の挽さばきも鮮かなだんじり囃子に続いて小学生の鼓笛隊の演奏があったあと、会長と区長さんからお祝いの言葉がありました。次いで第二部にお待ちかねの演芸会が開かれ、日本調の歌謡曲、ナツメロや都々逸など俗曲を採り入れた漫才を初め、浪曲、奇術に会場は屈托のない笑い声に包まれ、楽しい雰囲気に満ちたひとときでした。

〝お達者で、また来年もこの会場へ〟と閉会を告げることばに送られて足どりも軽く笑顔で語らいながら帰途につかれた。

鴫野

鴫野地区は、戦時中、軍需施設があったため、空襲を受け一面の焼野原となりました。やがて廃虚の中から町づくりが始まり、防犯協会や日赤奉仕団も協力、大阪市も広大な鐘紡の焼跡を買収し、中学校や市営住宅等が建設されました。

一方、不用となった鐘紡水利運河は、ごみが捨てられ、悪臭、蚊、蠅の発生源となりました。これをなんとかしようと、河島前会長を中心に、地域の皆さんが一致協力、町ぐるみで運河の埋立をはじめ、多くの困難をのりこえ、三千有余坪の広大な土地を造成、子供の遊園地となりました。

今日では、プールもある立派な遊園地となり、桜、梅などが咲き乱れ、私達の心をなごませています。

四年前からは社協、地域振興会主催で観桜会が行われ、婦人部の協力で、野点の茶会、演芸など老人を中心に楽しい一日を過します。

今後もこの遊園地をみんなの財産として大切に守ってゆきたいと思っています。

聖賢

聖賢地区は城東区の中央で区役所初め各官公署が集っています。

昭和五十年七月、突然扶桑薬品工業KKが蒲生一丁目に「場外馬券売場」の設置計画をもち出してきたので、直ちに聖賢、榎並、成育の三校下の社協が中心になりPTA、その他各団体の代表が、「教育の破壊、犯罪などの諸悪の根源」となることを恐れて反対運動を展開して（都島区調整）連日けつき集会を開いて、府市を初め関係先へ陳情し、また会社に対しても、決議文をもって設置反対を強力に申し入れましたところ、十月に入り会社も漸く断念しました。

幸い町も従前どおり静かな環境となり、九月十五日の敬老の日には、校下八五〇名の老人に対して、社協よりのお祝品を振興町会長を通じ贈りました。

校下社協としては、各団体が協力して地域福祉計画を練り、住みよい明るい町作りを目標にして、環境の整備に、老人福祉の充実に、青少年問題等に鋭意取組中であります。

今福

今福地区は旧住宅地と新住宅地（団地）とに二分された形態からなり、丁度中央部に城東運河が一線を引く如く横たわり、現在校下全世帯数も約半々に分れているのが現状であります。

そうした環境並に立地条件の異なった校下の住民の和を如何にして進めて行くべきか常に考えておかねばなりません。今後如何なる福祉事業なり行事を行うにも社会福祉協議会が中心になって各団体が十分話し合ってゆくことが大事であり、そうした意味で夏の夜の二日間の盆踊り又暑中の学校プール開放等を実施しましたところ、予期せざる好評をはくし非常によかったと思っています。

特に小学校プールを八月中毎週土、日曜日に開放して社協役員とPTA役員が親子水泳の指導に当ったり、また警備管理にあたったが、今年初めてのプールの開放であり随分気苦労しました。この間無事故であったことを喜んでいる。

放出

地域住民待望の放出小学校が、昭和五十年四月一日に誕生しましたが、大阪市の予算上三年生まで収容する校舎よりできず、その後校舎の増築、講堂の建設更に水泳プールの建設等々逐次完成し昭和五十二年三月全学年収容できる立派な校舎が完成しましたので、放出社協が主となり三月十日に新築の講堂で開校記念事業を盛大に開催しました。

放出社協主催で第一回敬老会を九月十五日の敬老の日を期して、放出小学校講堂で開催しました。記念品は例年どおり七〇才以上の老人宅へ配りましたが、敬老会は第一部会長あいさつ来賓代表、区長のお祝いのことばがあり、老人会と連合婦人部、校下有志の皆さんの演出された素人演芸会に花が咲き、お婆さんの踊りを息子夫婦が応援したり孫の劇をお爺さん、お婆さんが声援するなど和やかな会場に笑いと拍手とカメラのフラッシュの光で渦が巻き大変盛会のうちに終了しました。

鯰江

敬老の日に校下社協として行ってきたレクリェーション等の行事も参加者が半数以下であり、老人敬愛運動の意義が半減されるという意見がでてきて、今年も社協の役員が七〇歳以上の老人四八五名の家庭にお祝い品をもって訪問し激励しました。

当校下には町会単位に子供会がないので、数年前から校下の子供達が幅広く各行事に参加できるように鯰江クラブを結成して、ソフトボール、水泳、タコあげ等の各大会にも参加しています。この鯰江クラブ後援会長には、前PTA会長が就任することになっており、学校と社協の連携にあたって滑らかに行事が運ぶようになっている。

校下社協は鯰江クラブ後援会に助成金を出し、鯰江小学校の水泳部は、本年も大阪市北ブロックで優勝し連続十二年の輝かしい優勝記録も持っています。

青少年指導員が中心となって鯰江公園で多数の子供が参加してキャンプファイヤーを催したこともありました。

十月二十三日には鯰江公園で地域の連帯と親睦を計るため盛大に町会対抗運動会を開きました。

関目

毎年夏期には、水を求める地元住民の希望で、関目小学校プールの一般開放をお願いし、十日間十時から十六時まで開催、毎日〳〵芋の子を洗うほどの盛況で各町会から監視員五名を動員し無事故で終了しました。

恒例の相撲大会は、二日間、幼稚園児から六年生まで、各学年毎に、男女の区別なく取組み、盛況裡に終了、二日目には関西テレビから取材にみえ、一週間後の日曜日に八時四十五分から十五分間放映されました。

納涼盆踊りは会場がないのでここ数年中止しておりましたが、本年は地元の大正製薬の御厚意で所有地を借用、河内音頭にのせられ二日間実施、一日約千人の参加者で賑いました。

第二十六回敬老会は、七十歳以上の老人六七〇名の内半数以上の参加で開催、第一部式典に続いて、第二部の演芸と、参加者みんな最後まで楽しい一日でした。

榎並

校下社協主催で本年も青少年指導員が中心となって七月三一日から八月一日の二日間、榎並小学校々庭で小学、高学年一五〇名が参加して、第十六回目のキャンプ生活を開催したが、非常に盛況であり父兄からも大好評をはくしました。

八月十一日から十八日までの一週間、小学校プールを借りて第三回目の親子カッパ天国を開催したが、多数の参加者があり、親子の楽しい水遊びは、見るもほえましく夏の行事として有意義だった。

婦人部では、八月六日より三日間盆踊り大会を開きましたが、千数百名の参加があり極めて盛況だった。

九月十七日榎並小学校講堂に約七〇〇名の老人が参加して、例年どおり敬老会を盛大に開催し、他方寝たきり老人には、見舞品を贈った。目下の社協の課題としては、地下鉄野江内代駅附近に放置されている沢山の自転車の置場と防犯上の常夜灯の設置に鋭意取り組んでおります。

なお、当社協は大阪市社協より「モデル地区」に指定されているので、更に組織の充実を計り地域福祉の増進に努力しております。

成育

駒井会長並びに諸先輩のご尽力により、社会福祉協議会が昨年法人格を得られ、本年また、財団法人のコミュニティ協会の設立、二月に城東区民ホールが完成し、社会福祉、コミュニティの活動の場として、大会場をはじめ、行届いた諸設備に感激いたしました。

成育校下も福祉の一つとして九月十五日敬老の日、六十九歳以上の明治、大正、昭和に亘り御苦労なさったお年寄約三百五十名様を区民ホールにお招きし開催、第一部式典のあと、第二部の演芸を楽しくごらんいただきました。

町会長、役員、婦人部の皆様の心からのもてなしを喜んで戴いたと思います。

成育校下も各校下と共に一層福祉活動を推進して行く所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

婦人会だより

城東区婦人団体協議会では、八月九日市立城東会館において「若い警察官との懇談会」を開催致しました。

この行事は、区婦協の七つの専門委員会のひとつである青少年問題専門委員会の活動の一環として開催されたわけですが、日頃から地域の住民の安全のため第一線に立ってご活躍いただいているご苦労に対しての感謝の気持も含めて食事をしながら、和やかな雰囲気のうちに、年々増え続ける青少年の犯罪を未然に防ぐためには、親として又、法を守る立場において、いかにすれば良いかなど、双方から卒直な意見が出されました。

なお当日は、二〇代の男女約三〇名の城東署員の方々と来賓として、松本署長、辻本区長のご出席をいただき、区婦協側から各校下会長および専門委員約三〇名が出席致しました。

編集後記

十月中の降雨量は、記録的稀少で、十一月に入っても毎日暖かい日が続いています。

さて、今回みなさん方のご支援により第二号を発行することになりました。

第一面は、区社協の第二面は校下社協の活動状況をそれぞれ掲載しまして、みなさん方に少しでも社会福祉活動を理解していただきたいと思い、またこの広報紙が温かい隣人愛にもえて、みんなで手をつないで福祉の輪を広げて住みよい町づくりに役立つことができたらと思って、編さんにあたっております。

この広報紙は、まだまだ不備な点が多々あると思いますが、みなさん方の一層のご指導とご支援をお願いします。

今回掲載できなかった校下については、次に掲載する予定ですのでご了承下さい。

社会福祉協議会（地区）の役割

社会福祉ということばは、毎日のように新聞の記事にもでているしテレビ、ラジオの音波にも流れている。また誰れしもが気易く口にもするところでもあるが一体どんな意味なのか、簡単にいうと当初は社会的弱者を救済すること即ち要保護者等に温い手をさしのべることでありましたが、その後社会福祉六法の制定によって政府の施策にも随分取り入れられてきて制度化されてきました。ところが昭和四十年代になって経済が高度成長するにつれて、ひずみが生じてきたので、社会福祉も住民の暮しと健康を守る方向へと大きく変ってきました。即ち医療、公衆衛生（各種の公害対策等）教育、交通、社会福祉等多くの行政の分野ともかかわって来たのであります。

それでは、社会福祉協議会は何をするのかといいますと、地域内の各種団体が相寄り民主的に話し合いお互に考え、計画をたて地域内にあるさまざまの福祉問題を解決していくための組織であります。自分たちの地域は自分達で互に守るという体制づくりが基本であります。

ところでここに社協活動の具体的課題を例示として考えて見ますと

(1)児童福祉
- 遊び場つくり、保育所づくりの推進
- 児童文庫づくり、児童館づくりの推進
- 子供会の育成、悪書追放等

(2)老人福祉と母子福祉
- 敬老月間行事
- 寝たきり老人の友愛訪問
- 老人クラブの育成
- 母子家庭の助成等

(3)障害者福祉
- 集会所、スポーツセンター作りの推進

(4)保健福祉
- スポーツ、ハイキングサークル活動の促進
- 成人病予防対策の助成

(5)一般社会福祉
- ボランティア教育と実践
- 地域の環境改善の推進

「心配ごと相談所をご利用下さい」

生活上のことで、心配なことがありましたら、どんなことでも遠慮なく相談にきて下さい。

相談は、無料で秘密を守ります。

相談日　毎週月、水、金　午後一時～四時
相談員　民生児童委員
場所　城東区役所一階
城東区社会福祉協議会